



ミニ牧場で牛と遊ぶ子供たち

秋の味覚を満喫

農業まつり開催

農業を広く市民に紹介し、ともに収穫の喜びをわかち合おうと、十一月二十日、二十一日の二日間、旧城内スポーツレクリエーション広場で「農業まつり」が開催されました。

会場では、収穫されたばかりの野菜や

くだもの、花などの即売が行われ、集まった約一万五千人の方々は、盛りだくさんの秋の味覚を満喫しました。また、子供たちは、ミニ牧場でこわごわと牛に触れたり、金魚すくいや竹馬乗りに熱中していました。

公設青果市場を開放 第九回小田原青果まつり

十一月二十八日、皆さんがふだん入場することができない市場を一日開放し、生産・流通の仕組みを理解していただくこと、市公設青果市場で第九回小田原青果まつりが行われました。

会場では、希望者七十人が符丁や方法を教わった後、競りを体験し、慣れない手つきで白菜やほうれん草、リンゴ、イチゴ、メロンなどを購入しました。また、近在で収穫された新鮮な野菜二十三トン、果物十トンがもうけなしの安価で即売され、集まった約三万人の人気を集めていました。



競りを体験する参加者

目次

- ② 年末年始の市役所の業務と施設のお休み
- ③ 青少年育成功労者等表彰、マイタウンレポート
- ④ ⑤ 特集 第9回市民意識調査結果
- ⑥ ⑦ きらめき情報、けんこうコーナー
- ⑧ おだわら・くらしのテレフォンガイド

青少年育成成功労者等表彰

十一月二十一日・市内の青少年育成成功者三人、青少年育成

推進者十九人と優良青少年団体八団体が小田原市青少年問題協議会



表彰された方々には会場から大きな拍手が

議長(市長)から表彰されました。

受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

◎青少年育成成功労者

大津淳一(本町) 杉山五郎(南鴨宮) 都築融光(東町)

◎青少年育成推進者

稲子利雄(府川) 夏目恵美子(飯泉) 瀬戸幾一(本町) 坂本澄子(栄町) 興津繁(浜町) 村井徳子(中町) 中村滋(曾我原) 今井泰(南鴨宮) 遠藤和夫(清水新田) 濱野進(久野) 飯山チヨ(鴨宮) 椎野芳子(前川) 奥津政治(浜町) 石井君江(寿町) 鈴木秀樹(本町) 鈴木雄一(早川) 松賀淳(浜町) 村上住恵(中村原) 徳田幸子(上曾我)

◎優良青少年団体

下曾我剣禅会 第二十四地区

国民年金事業

委員と優良団体が表彰を

代栄会 緑地区青少年育成協議会 矢作学区朗子ども会 国府津学区天神前子ども会 片浦学区根府川子ども会 曾我学区鬼柳子ども会 下中学区脇子ども会

表彰式が開催され、永年にわたる国民年金事業の推進と発展に貢献した地区組織と民間協力者が表彰されました。本市からの表彰者は、次の組織と国民年金委員の方々です。(敬称略)

◎社会保険庁長官表彰

地区組織 新宿自治会 第二十四区自治会 第五十九区自治会 第六十区自治会 第六十三区自治会 東組自治会 曾我神戸自治会 小船第一区自治会

◎優良市長村

小田原市

◎県知事表彰

◎国民年金委員 松蔭英龍(第九区) 米山重春(第三十六区)

太田忠雄(第六十九区)

◆問い合わせ 保険年金課 国民年金係 ☎33-1867

ライターウツ

広報ライター 斎藤香緒里

「若い」を支える在宅福祉

超高齢化社会を控え、ひとり暮らしや寝たきり老人、痴ほう症老人などがますます増えています。小田原市にも、寝たきりの方が約三百人、ひとり暮らしの方が千人以上もいるそうです。それに対し、さまざまな福祉対策がとられていますが、多くの方は、住み慣れた家で親しい人々に囲まれて暮らしたいと願っているはず。そこで重要となってくるのが在宅福祉です。

小田原市では、在宅福祉として、人の訪問入浴や歯科診療や検診、独居老人等の緊急通報システム、在宅介護支援センター事業などが行なわれています。今回は、この中から「小田原ふれあいサ

ービス協会」の活動に注目してみました。ここでは、ホームヘルパーの派遣と毎日の給食サービスを行っています。

一人暮らしを援助するホームヘルパー

ホームヘルパーの仕事は、掃除・洗濯・炊事などの家事援助や、対象者の体調のチェックや話し相手になることなどで、現在百五十人ほどのヘルパーが月に一度の研修を受けながら活動しています。対象となるのは、六十五歳以上のお年寄りや病弱な方、ひとり暮らしの方、年齢に関係なく体に障害のある方など、そういった方の介護にあたる方の負担の軽減にも貢献しています。平均して週に二回、一回二時間ほどの訪問で、費用は国の基準で、所得に応じて一

時間あたり無料から最高でも八百八十円となっています。ヘルパーは、ほとんどが子育てを終えた主婦の方で、特別な資格や技能がなくても、普通に家事ができ、元気でやる気さえあれば誰にでもできます。また、時間単位の仕事なので、フルタイムの仕事と違い、無理なく始められます。時給は千五百円とかなり高め、交通費も支給されます。私自身も時間的に可能になったからぜひやってみようと思います。



小田原ふれあいサービス協会のスタッフに気軽に相談を

生活支援型サービス「トントンサービス」に別名「トントンサービス」と呼ばれ、市内の特別養護老人ホームや小田原給食センターに委託して、日曜を除く毎日一食の食事を配達するものです。対象となるのは、ひとり暮らしの高齢者、または自分で食事の支度が困難で、かつ扶養義務者から食事の提供が受けられない状態の方などで、費用は一食四百円です。このサービスは、バランスのとれた食事の提供で、栄養の偏りを防ぐだけでなく、毎日誰かが訪ねてきてくれるという生活に張りやわらげることができるといへんすぐれたシステムといえます。

身近なお年寄りとの関わりをこれらのサービスをうまく利用して、より快適に暮らすという方法を自分なりに考えていくことが大事であり、あくまでも自立の手助けであるというのを忘れてはいけません。家族や地域のあり方も、もっと追求されるべき問題です。「明日は我が身」であることを忘れずに、身近なお年寄りに関わっていきたいものです。

市長随想 チュラビスタ市訪問記

文 小澤良明

米国チュラビスタ市との姉妹都市交流も、既に十二年目になるが、第三回目の親善市民訪問団として、去る十月下旬、小田原市民海外交流会の公募した四十人余の皆さん、それに下川市議会議員長夫妻と私共夫婦が加わり、公式訪問した。

全日程を通じて特に感銘を受けたことは、先方の歓迎ぶりである。国際親善委員会の準備は豪華さや仰々しさはないが、細かい心配り、誠意とあたたかさにあふれ、単なる親善の枠を乗り越えて、ホスピタリティの真髄を改めて考えさせられ、心にしみ入る想いであつた。



市庁舎前庭でムーア市議会議員から説明を受ける市長夫妻。特に到着第一夜に私たちが分散してのホームビジットでは、長旅の疲れを忘れさせる歓待を受けた。私たち夫婦は、本市派遣の学生のホームステイ先として、かねてよりご尽力いただいているフォックス市議会議員の義母のフラン・ラーソンさんの家を訪れ、議員夫妻共に時のたつのを忘れるほど本当に楽しい一夜を過ごさせていただいた。

を重ねながら、我々訪問団全員の心も急速に一つになり、それだけに友好の実もいや増すというところで、全員が単なる観光旅行では味わえない充足感や高揚した気分を覚えたのである。チュラビスタ市行政は、消防、警察を抱えてはいるものの州政府の権限が大きく、本市と比較すると予算規模も格段に少ない。しかし町が集まって州ができ、州が集まって合衆国が誕生したという米国の成り立ちからも明らかのように、地方自治の確固たる基盤はあちこちでうかがわれた。議場で傍聴した教育委員と先生の代表たちとの討議や会議の進め方、全米有数という市立図書館の運営、国際親善委員会のあり方、先生の授業の準備を当然のごとく手伝うPTAのお母さんたち、等々、開かれた自治の理念が市民生活のどこにもしっかりと根付いているのである。

市庁舎を始めとする公共施設の訪問や視察から、踊ったり歌ったりの交歓まで、かかえきれぬ程の成果を得た今回の公式訪問であつた。この交流を通じて、私たちが彼の地に何を残したか定かではないが、小田原市民の国際交流の歴史に大きな足跡を残したことを確信したい。

公式訪問等の日程がすべて終了し、帰路に着く訪問団一行をお見送りした後、全くプライベートに長い間関心をもち、機会あれば是非とも見たいと思っていたロサンゼルスやサンフランシスコ近郊のウォーターフロント開発、そして環境と調和したまちづくり等を重点に視察した。各都市が多様な手法をもってまちづくりを進めているのを直接目にしてみたいと参考となり、改めて「きらめく城下町・小田原の創造」に意欲をかきたてられた。

小田原に住んでこう思う

～第9回市民意識調査結果報告～

隔年で実施の「市民意識調査」小田原市に住んで私はこう思う」の第九回の結果がまとまりました。内容の一部をご紹介します。ある研究機関の調査では、人口十万人から二十万人規模の百十一都市の中で「暮らしやすさ度」総合十五位という上位にランクされた小田原市。しかし、都市として至らない部分も多くあります。市では、今回の意識調査の結果をまちづくりの施策に反映させ、小田原が魅力あるまちとなるよう努力します。

調査方法

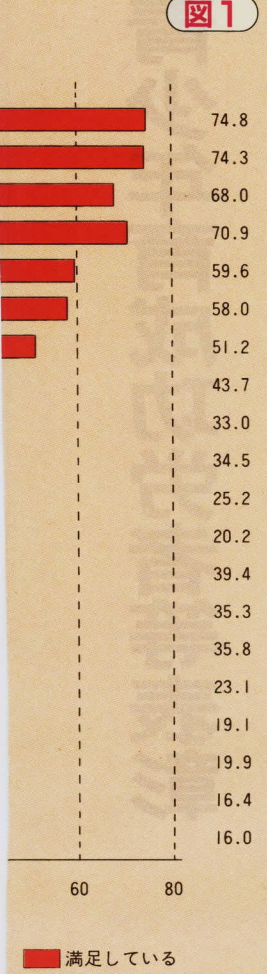
- ◆対象 無作為抽出による市内在住の二十歳以上の男女三千人
- ◆方法 郵送調査法
- ◆回収結果
 - ・有効回収数 二千三人
 - ・有効回収率 六六・八パーセント

- ◆調査内容 生活のゆとり・目標 生活環境 市のイメージと市役所の印象 市政への関心 ごみの減量化・再資源化 防災対策 生涯学習 女性と社会 市からの情報提供 自由回答（小田原市のまちづくりについて）

身近な生活環境は

環境評価に対しての今回の回答結果を十年前のものとは比べると、「子供の遊び場」と「道路の整備」以外の事項では、満足する人の割合が増えていました。この十年間で、生活の便利といった面でかなりの改善がみられたと言えます。

「子供の遊び場」と「道路の整備」は、「市長への手紙」や「市民と市長との懇談会」でも大変多くの方からご意見をいただき、



小田原のイメージは

最も多くの方が回答したのが「伝統的な」と「保守的な」というイメージ。ともに五〇パーセントを超えました。そして、「古めかしい」「安心できる」「雑然としている」「親しみやすい」「やばつたい」「目立たない」「ありふれた」というイメージを答える人が二〇から三〇パーセントいました。

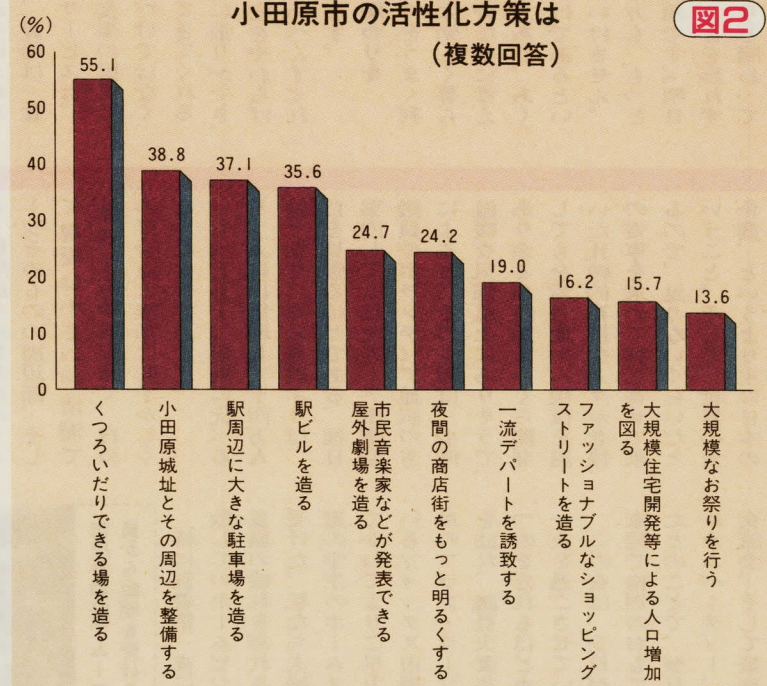
「伝統的な」と「保守的な」という言葉はイメージ的に似ています。しかし、今回の調査ではそれぞれを支持する人に違いがみられます。

「伝統的な」イメージと答えた方には、小田原に永住を希望する人が多くみられます。また、「親しみやすい」「明るい」「人情味のある」「文化的な」といった良いイメージも一緒に選んでいる傾向にあります。

これに対し、「保守的な」イメージを回答した方では、市外への転出を希望する人が多くみられます。そして、「雑然としている」「目立たない」「ありふれた」「やばつたい」「古めかしい」というどちらかと言えば好ましくない表現も選んでいます。



図2 小田原市の活性化方策は (複数回答)



小田原を色で表現したら

緑と答えた人が全体の五八・一パーセント。年齢別、職業別、地域別などでの偏りはほとんどありません。

緑に次いで多かったのが青。青をあげるの若い人に多く、二十歳から三十四歳では四〇パーセントを超えています。

「山の緑」「海の青」が小田原と結び付いたのではないでしょう。

現在、市では都市イメージの向上を目指して行政デザインに取り組んでいます。色もこの重要な要素です。今回の結果を参考にしながら、小田原らしいデザインを生み出していきます。

「にぎわい」や「いきいきとした都市」を感じますか

「感じる」人は二五・六パーセント、「感じない」人は四七パーセント。



一セント。特に、三十五歳から四十九歳の年齢層では、五五から六〇パーセントの人が「感じない」と回答しています。

なお、高齢者では「感じる」と答える人の割合が比較的高くはなっています。しかし、全体を通して「感じる」と答えた割合の最も高い七十歳以上の層でも、四三・五パーセントと半数に届いていません。

活性化に重要なのは

特に若者層（二十～二十四歳）では、「一流デパートの誘致」、「ファッションナブルなショッピング・ストリートを作る」、「大規模なお祭りを行う」などの方策を支持する人が、他の年齢層に比べて多くみられました。

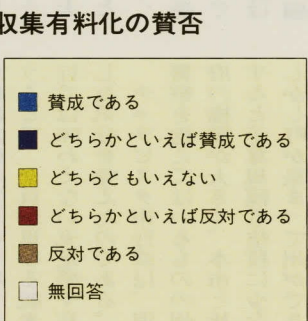
これらの方策は、全体では一〇パーセント台の支持しかみられず、若者層と他の年齢層との考え方の違いが分かります。

活性化の問題は、市の総合計画「おだわら21世紀プラン」の中でも最重要課題として位置づけています。

市でも、市役所内部の組織として「活性化推進委員会」を設け、活性化の方法を検討していきます。皆で知恵を出し合い、できるものから積極的に実行します。

ごみ収集の有料化は

市では、「クリーン小田原21」の中で、さまざまなごみの減量・再資源化対策を行っています。今後の参考に「ごみ収集の有料化の賛否」について伺いました。



ふるさととの息吹

小田原の年中行事 ⑨

小田原市史編さん委員
西 海 賢 二

十二月の行事 新年を迎える行事

一年の締めくくりの月である十二月。市内でも、一日の「カワビタリ」(水神を祭る行事)、八日の「シワスヨウカ」、十三日の「煤払い」、十七・八日の「飯泉観音歳の市」、二十日過ぎ

ぎの「冬至」、二十八日もしくは三十日の「餅つき」など、新しい年を迎えるためのさまざまな行事が行われる。

久野の星山では、十二月一日に、カワビタリの餅を作った。年寄りからは、「この餅を食うなら川へ行ってこい」と言われたものだった。

中久野では「カワビタリ餅」と言われて、一日に餅をついた。アンコ餅だったのが、理由は分からない。子供のいる家庭では「言うことをきかないと、カワ

ビタリに何もくれてやらない」と言われた。

八日には、市内全域で「シワスヨウカ」という行事が昭和十一年代ごろまで行われていた。この日には、久野周辺では一つ目小僧や目一つ小僧という妖怪が現れ、子供たちに恐れられていたという。そのため、各家庭では目籠(市内では一般にミケ

ゴ、もしくはメケゴと言われる、芋を洗う籠を丈口(敷地への入り口)に出した。こうすると一つ目小僧が驚いて逃げ帰ると言われていたためである。

十三日には、「煤払い」の行事が広く行われていた。特に、旧市内の商家では、この日に煤払いが終わると、いよいよ正月の準備が始まることを実感したという。また、この日の昼に、市内では特別な食事をしたことが語られている。市内のほぼ全域で煮団子を食べていたようだが、国府津の一部や橋地区では、オシヤを食べていたようである。

十七、十八日には、市内で最大の歳の市が飯泉で開かれる。

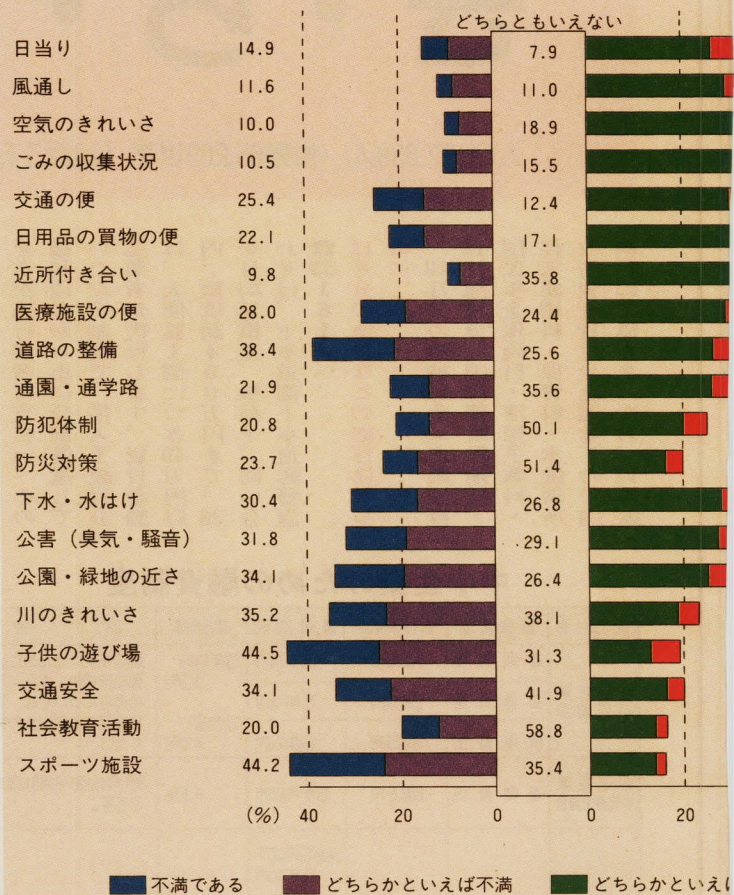
北方の領土にとませ 日本灯

特にダルマや大神宮が買われることから「ダルマ市」の名で親しまれているこの市では、市内の人々が正月用品を買うのを楽しみにしており、飯泉を中心とした下府中周辺では、この市の始まりを「ござった、ござった、ごまてござった、正月がユズリ葉に乗ってござった」と、正月に結び付けて称したという。

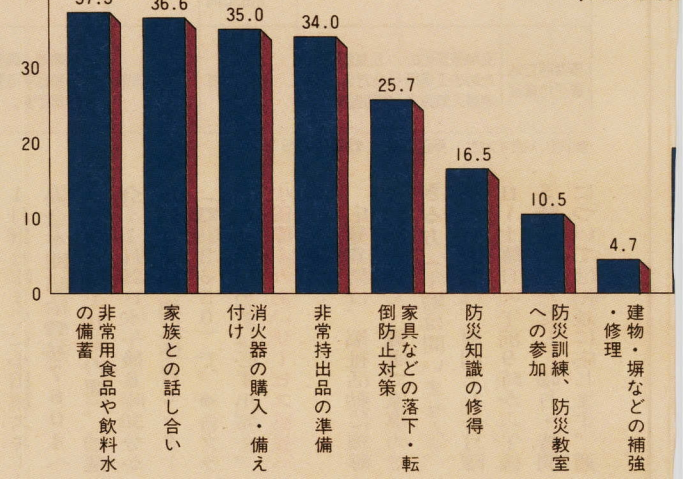
二十日過ぎに冬至がある。今でもこの日には、柚湯に入る家庭が多い。この湯に入るとのほか体が温まるのだそうだが、この日には、老人が食べると中気にならないとの言い伝えもあり、カボチャを食べる家が今でもかなりある。

二十八日もしくは三十日には餅つきが行われる。二十九日の餅つきは、「九が苦にながる」「九が四十九餅になる」と言われ嫌われたという。ただし、国府津や早川の一部では、「二十九(二九)は福(フク)につながる」として、あえて二十九日に餅をついている。

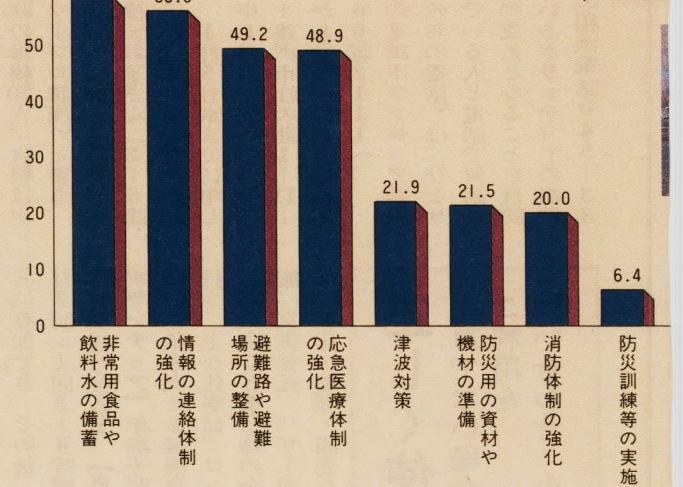
身近な生活環境の評価は



防災対策として日頃から行っていること (複数回答)



防災対策として行政に行ってほしいこと (複数回答)



防災対策は

図3・4

今回の調査結果を見ても、皆さんの防災への関心の高さがよく分かります。
「神奈川県西部地震」の発生が心配されている現在、市としても地震対策は他のまちづくりの施策とは別格に最大限の力を注いでいかなければなりません。今回の調査結果を参考に、そして、常に新しい情報を把握しながら「行政として行うべきこと」と「市民の皆さんに行っていただくこと」を考え、防災体制を築いていきます。

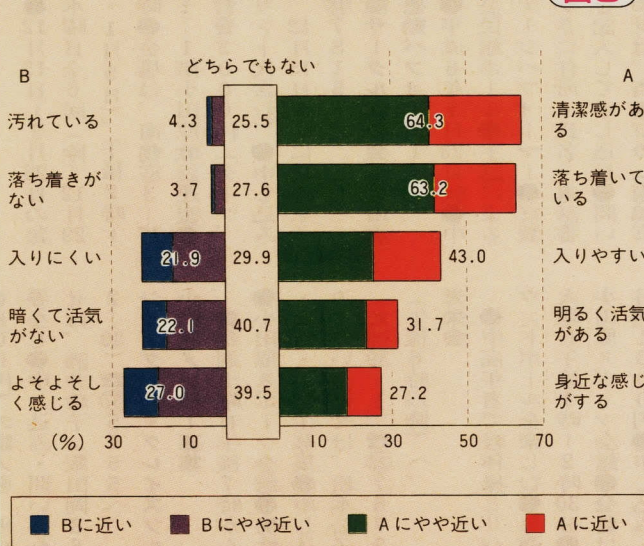
市の施設印象は

図5

回答者のうち、市役所や市の施設を利用したことのある人にその雰囲気伺いました。

市役所や市の施設の雰囲気は

図5



今回の調査結果は、自由回答の項目を含め二十三の質問事項に回答をお願いし、集計しました。

集計結果を詳しく知りたい方はお問い合わせください。

◆問い合わせ 広報広聴課 市民 dialogue ☎ 33-1263

き・ら・め・き

情報

人口197,639人 世帯65,209世帯 (10月1日現在)

CITY INFORMATION

お知らせ

市役所の入札参加願

市が発注する工事や製造の請負、物件の買入れ、測量、設計委託などの指名競争入札に参加を希望する方は、次のとおり追加受付を行います。今回登録の有効期間は、平成6年6月1日から平成7年5月末日までです。申込用紙は、平成6年1月17日から2月14日まで管財契約課で配布。受付は、2月15日から2月28日まで（ただし、申込用紙配布時に受付日を指定。受付時間は、午前9時から午後4時まで（正午から午後1時を除く）土曜日、日曜日、祝日は受け付けません。問い合わせは、物件の買入れ、業務委託が管財契約課物品契約係☎331323。工事の請負、測量、設計委託が工事契約係☎331325へ。

下水道水洗便所改造貸付金の利用を

公共下水道処理区域内の汲取便所、または尿浄化槽による水洗便所を改造する方に、工事資金を貸付する制度です。利用者が市に申請すると、貸付金を市が施行業者に支払い、その後利用者から市に分割償還していただく制度で、借入手続は公認業者が代行します。貸付金額は、大便器1個につき40万円以内、限度額400万円まで。36か月均等償還、無利子。問い合わせは、下水道部下水道総務課☎331614へ。

12月分の市税などの納付はお早め

12月分の市納付金（市県民税12月随時分・国民健康保険料・国民年金保険料・清掃手数料・住宅使用料・保育料・水洗便所改造資金貸付金返還金）の年内納付にご協力を。なお、口座振替ご利用の方は、12月30日に預金口座から自動引き落としとなりますので、預金残高にご留意を。問い合わせは、収納課☎331341。保険年金課国民健康保険係☎331845。保険年金課国民年金係☎331867。環境総務課☎331475。建築課☎331553。児童福祉課☎331451。下水道総務課☎331616へ。

中小企業のための融資制度

資金名	資金用途	貸付限度額	貸付期間	貸付利率	備考
中小企業 小口資金	運転資金	300万円	4年以内	3年以内 3.8%	融資を受けるために必要な資格や、保証人等の条件については、直接電話でお問い合わせください。
	設備資金	500万円	5年以内	3年超 4.0%	
	併用資金	500万円	5年以内		
中小企業 中元歳末資金	運転資金	500万円	6か月以内	4.0%	受け付けは12月31日までです。
大型店対策 特別資金	店舗改装用 設備資金	2,000万円 (ただし、総額の80%まで)	500万円以下 5年以内	5年以内 4.0%	店舗販売を行う小売業者が対象です。
			500万円超 1,000万円以下 7年以内	5年超 4.1%	
			1,000万円超 10年以内		
事業所立地 適正化資金	立地適正化の ための工場用地 購入等資金	5,000万円 (ただし、総額の80%まで)	20年以内	5.0%	住居地域、商業地域等から移転する製造業者が対象です。

◆問い合わせ 商工課 ☎331511

募集

小田原市職員（動物飼育員）募集

ホームヘルパー（介護福祉士有資格者など）と動物飼育員。応募資格：昭和29年4月2日以降の生まれ。高等学校卒業程度。受付期間：12月20日（月）から22日（水）まで。第1次試験日：平成6年1月13日（木）。詳細は、総合案内、支所連絡所で配布中の「採用試験の案内」参照。問い合わせは、職員課☎331241へ。

結果

第13回小田原市スポーツ少年団優良指導者・感謝状表彰

優良指導者表彰：齋藤義博（東富水ユニバース）、中西利道（東富水ユニバース）、小林

美園（桜井バレーボール）。感謝状表彰：若林武男（小田原ベアーズ）、原秀悦（酒匂フレンズ）、鈴木克明（酒匂フレンズ）、峯尾博之（酒匂フレンズ）、石川実（酒匂フレンズ）、露木明（東富水ミニバスケッポール）、稲葉昭博（千代・豊川サッカー）、守永二郎（足柄ホープ）、岩田芳夫（山王）。問い合わせは、体育課☎331733へ。

伝言板

第26回小田原スキー選手権大会

2月5日（土）午後8時開会式。6日（日）午前8時30分競技開始。午後1時30分閉会式。野辺山スキー場スノーレドコース。種目：大回転2本。参加資格：協会登録会員（SAJ登録者小・中・高校生を含む）と協会未登録会員（SAJ未登録者一般を含む）。参加料：個人の部 小・中学生2500円、その他3000円（A級選手は無料）、団体の部 10人以下2000円、11～20人4000円、21～30人6000円、31～40人8000円、41人以上10000円（小・中学生の人員は除く、A級選手を含む）。申し込みは、1月26日（水）までに小田原スキー協会本間昭治☎487604へ（午後6時～10時の間）。抽選会：1月26日（水）午後6時30分から県立西湘地区体育センター（☎42650）で。※各クラブの競技担当者は必ず出席を。小田原ふれあいサービス協会へルバー募集

応募資格は、福祉活動に理解と情熱を持ち、健康で家事のできる方（年齢は問いません）。活動時間帯は、原則として月曜日～土曜日の午前9時から午後5時まで。ただし、曜日・時間については相談に応じます。週

2～3回、1回2～3時間程度の活動でも可。なお早朝・夜間や休日に活動できる方も募集。活動内容は、お年寄りや障害のある方の家庭での食事づくり、そうじ、洗濯、買い物など。時給は1050円（5時以降1310円）。交通費実費支給。研修月1回。申し込み・問い合わせは、小田原ふれあいサービス協会（小田原市城山2-1-5 社会福祉センター2階 ☎358143）へ。

宅地内の水道修理は水道サービスセンターへ

宅地内の水道修理は、小田原水道サービスセンター（24時間体制）で行っています。また、従来どおり公認業者でも水道修理はできます。修理はいずれも有料。なお、橋地区は県営水道です。県企業庁水道局二宮営業所☎046378111へお問い合わせを。問い合わせは、小田原水道サービスセンター☎42882へ。

母子家庭のお母さんのワープ講座

平成6年1月22日（土）・23日（日）・2月5日（土）・6日（日）・12日（土）の計5回。午後1時～5時。生きがいふれあいセンターいそしが（酒匂2-32-15）。募集人員は、母子家庭の母親20人。官製はがきに「ワープ講座」と書き、住所・氏名・年齢・電話番号・受講動機・お子さん（2～6歳児まで）の保育希望の有無を記入して、1月5日（水）までに申し込む。申し込み・問い合わせは、〒251 藤沢市江の島1-11-1 かながわ女性センター福祉部 ☎0466272111へ。

いのちの電話ボランティア募集

「いのちの電話」は、ひとりで悩んでいる人と電話で対話し、こころの支えとなることを目的としているボランティアの組織です。《相談電話045-33

民プラザ

小田原歌謡連盟カラオケ講習会

●12月15日～1月26日の毎週水曜日全6回（除く12月29日・1月5日）。午後2時～4時。会場は、南鴨宮3-17 1-1階小田原歌謡連盟。講習費3000円（テープ、プリント代含む）。申し込みは、12月15日までに星山京子☎487815へ。

路感動パフォーマー

●平成6年1月23日（日）●中央公民館ホール●手話によるステージパフォーマンス●官製はがきに住所・氏名・電話番号を記入して申し込む。問い合わせは、斉藤ワカ（南鴨宮2-24-12）☎473779（午後6時以降）へ。

合唱団たんぽぽコンサート

●平成6年2月6日（日）午後

1時30分開演（1時開場）。●南足柄市文化会館小ホール●合唱構成「ぞうれつしやがやってきた」。●入場希望者は、前売りチケット（大人子供とも800円）の購入を。当日券なし。申し込み・問い合わせは、酒井玲子（飯田岡382-30）☎375755へ。

●ジャズダンス・グレイスフル小田原メンバー募集。●毎週土曜午後7時から小田原スポーツ会館。●男性・女性・小学生募集。申し込み・問い合わせは、松本公子（米神39-1）☎27673（午後6時以降）へ。

●中高年者で軽体操とリバウンドボールを楽しむ。●毎週火曜午後1時～2時30分。●小田原スポーツ会館。●会費は、月額1000円。申し込み・問い合わせは、根本利一郎（南町1-5-44）☎28283へ。

5-4343）いのちの電話の活動に参加しませんか。【A相談ボランティア】年齢23～55歳。ほぼ毎週1回1年間の養成コースに参加でき、その後、相談を月2回（1回3～4時間）以上無料奉仕できる人。【B後援会ボランティア】年齢不問。いのちの電話を支える後援会活動を行う。主な仕事は、コンサート・映画会など催し物の企画・実施、文書発送、バザー用手作り品の製作・整理・販売など。無

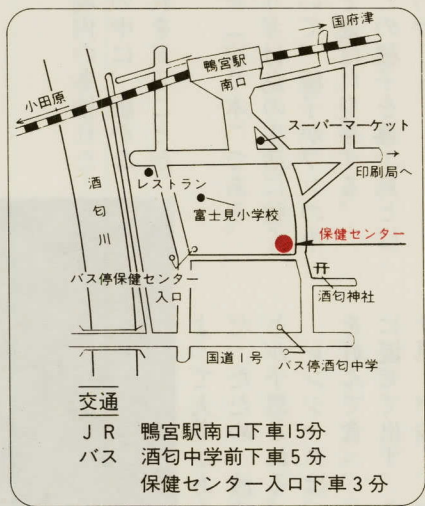
正しく使おう110番

緊急でない場合は、相談コーナーのご利用を。問い合わせ 小田原警察署 ☎220110

けんこう

問い合わせ・申し込みは保健センターへ

☎470820



成人病予防

年に一度、健康診査の受診を。
■基本健康診査 肺がん・大腸がんの検診を希望の方は受診時に申し込んでください。
◇対象 40歳以上(職場などで健康診断のない人)
◇場所 けんこうカレンダー掲載

載の取扱医療機関

持参するもの 保険証、医療受給者証(高齢者の方)

◇受診料 基本健康診査 無料
(精密診査まで行った場合は1000円) 肺がん検診 無料
料、大腸がん検診 6000円
◇施設検診(電話申込制)
◇対象 30歳以上

すこやかノート

12月

寒い冬はカゼの季節、多くの人がかぜに悩まされます。とりわけやっかいなのがインフルエンザです。

カゼと一口に言っても色々あり、普通の鼻カゼとインフルエンザとは全く違います。カゼの病原体は主にウイルスです。その中で最も強烈なのがインフルエンザウイルスなのです。

そして、普通のカゼは散発的に起きますが、インフルエンザは突発的に大流行を起こすことがあります。過去に大流行したのは、大正7年のスペインカゼ、昭和22年のイタリアカゼ、更に、昭和32年のアジアカゼがあります。特にアジアカゼは世界中に流行し、

冬に猛威をふるうインフルエンザのはなし

しまうものと、小さくて空気中に漂っているものがあり、窓を閉めきっている冬に、より感染しやすくなります。一人の患者から伝染するのはせいぜい一人から数人にすぎないのですが、気象条件、

遅れて出てきます。インフルエンザのはつきりした症状は、突然40度近い熱が出て、頭痛、腰痛、筋肉痛などが激しく出たり、全身がだるく、症状が重く感じられます。

○休日診療カレンダー

受付 午前9時30分～11時30分 午後1時～3時30分
休日・夜間急患 ☎110 休日急患歯科 ☎111

12月	19日(日)	内科・小児科・眼科	歯科
	23日(木)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	26日(日)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	29日(水)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	30日(木)	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科	歯科
	31日(金)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
1月	1日(土)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	2日(日)	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科	歯科
	3日(月)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	9日(日)	内科・小児科	歯科
	15日(土)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	16日(日)	内科・小児科・眼科	歯科
	23日(日)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
	30日(日)	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科

準夜間診療(内科・小児科)は毎日午後7時～10時
●休日夜間急患診療所 ☎0823 ●休日急患歯科診療所 ☎0825 ●休日夜間急患調剤薬局 ☎0826

○乳幼児健診 1月

持ちもの：母子健康手帳、別冊、1歳6か月児・3歳児は歯ブラシ
※1人目のお子さんは、集団指導を行いますので、受付開始時刻までにお集まりください。
※3か月児と3歳児健診時は、母子手帳もしくは別冊の診査票に必要事項を記入してください。
※1歳6か月児・3歳児健診時に、歯科健診を行います。3歳児健診には尿検査もあります。

健診名(生まれ年月)	会場	生れた日	実施日
3か月児(5年9月生まれ)	小田原保健所 13:00～14:00	1～9日	10～15日 16～23日 24～27日
7か月児(5年5月生まれ)	保健センター 13:00～14:00	1～9日	10～15日 16～23日 24～25日
1歳6か月児(4年6月生まれ)	保健センター 13:00～14:00	1～9日	10～15日 16～23日 24～26日
3歳児(2年12月生まれ)	小田原保健所 13:00～14:00	1～10日	11～20日 21～28日

脳卒中のリハビリ相談

脳卒中でリハビリテーションを必要とする方やご家族のご相談に専門医が直接お答えします。
相談日時：毎週火・木曜日の午後1時～4時までです。
◆問い合わせ 小田原市地域リハビリテーション医療調整室(保健センター内) ☎470833(毎週月曜・金曜日の午前9時～午後4時まで)へ。

年金相談・納付相談

お気軽にお出かけください
12月21・22日
午前10時～午後3時
市役所6階602会議室
主催 小田原社会保険事務所 ☎221391
小田原市保険年金課 ☎331867

下水道受益者負担金 第3期の納期は12月28日です

問い合わせ 下水道総務課 ☎331616

小田原競輪 周辺道路総合交通規制日

12月
20日(月)
21日(火)
22日(水)
25日(土)
26日(日)
27日(月)
28日(火)
29日(水)
30日(木)

電話でもファクシミリでも使える便利帳

おだわら・くらしのテレフォンガイド

☎33-1266



地図で場所の確認も

市民のみなさんの「？」に電話でお答えする「おだわら・くらしのテレフォンガイド」。十月からは、ファクシミリでも利用できるようになりました。電話の案内だけではわかりにくかった情報も、ファクシミリなら図や表で一目瞭然！ぜひご利用ください。

利用方法が変わりました

ファクシミリ機能を追加

電話でもファクシミリでも利

用できるようにするため、利用方法を若干変更しました。なお、電話機でご利用の場合は、ファクシミリによる案内を受け取ることができませんのでご注意ください。

■利用方法

*テレフォンガイドに電話をかける前に、ご利用になりたい

電話音声による案内



を聞くと
きは……

- ①案内の音声に従って、はじめに「7」をダイヤルします。
- ②聞きたい項目のサービスコードをダイヤルします。
- ③その項目の内容が流れます。
- ④その項目をファクシミリでも

項目のサービスコード（三けたの番号）を確認してください。

サービスコードの一覧は、十月に各家庭にお配りした「市民生活ガイドブック」の六十六ページに掲載してあります。また、サービス

コード「990」（ファクシミリ専用）で受け取ることもできます。

*テレフォンガイドの電話番号は、☎33-1266です。電話がつながったら、案内の音声にしたがってダイヤルしてください。

受け取りたいときは「7」(注)を受け取らないときは「9」をダイヤルします。

「012」をダイヤルし、案内の音声に従ってファクシミリのスタートボタンを押して受話器を置きます。しばらくすると、ご希望の案内がまとめて送られます。

(注) ファクシミリで受け取る(4)で「7」をダイヤ

ファクシミリによる案内



を受け取る
ときは……

- ①案内の音声に従って、はじめに「9」をダイヤルします。
- ②ファクシミリによる案内を受け取りたい項目のサービスコードをダイヤルします。
- ③他にもご希望の項目があれば、サービスコードをダイヤルします。ご希望の項目がなければ、サービスコード「012」

をダイヤルします。

④案内の音声に従って、ファクシミリのスタートボタンを押して受話器を置きます。しばらくすると、ご希望の案内がまとめて送られます。

*一回の通話で、続けて五項目まで利用できます。

*ファクシミリによる案内は、終わるとき「012」をダイヤルした後、にまとめて送られます。

◆問い合わせ 広報広聴課高度情報係 ☎33-1264

一生の思い出に

成人式に参加しよう

手づくりのアトラクションもあります。お楽しみに。



◆期日 一月十五日(祝日)
◆会場 市民会館大ホール
◆対象 昭和四十八年四月二日から四十九年四月一日までに生まれた方(平成六年一月一日現在、小田原市に住民登録のある方)
◆問い合わせ 青少年課育成係 ☎33-1723

ふるさと文化基金事業

小山実稚恵 ピアノリサイタル

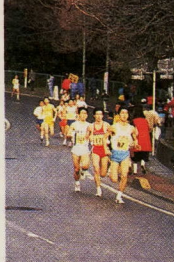
—第30回市民会館市民劇場—

- ◆日時 平成6年1月28日(金)午後6時30分開演
- ◆会場 市民会館大ホール
- ◆入場料 (指定) 3000円 (自由) 1500円
- ◆前売り 市民会館事務室、志澤デパートチケットセゾン、長崎屋4Fサービスセンター、おだちかインフォメーションで、好評発売中
- ◆問い合わせ 市民会館 ☎27146



みんなで走ろう尊徳の道

小田原尊徳マラソン大会



- ◆第7回小田原尊徳マラソン大会の参加者を募集します。
- ◆期日 平成6年3月6日(日)
- ◆種目 5km・10km・20km
- ◆種別 男子・女子の部・年齢別(29歳以下・30〜40歳代・50歳以上等)
- ◆日程 受付 午前7時10分〜8時40分 開会式 8時30分(城山陸上競技場) スタート 10km・20km 9時 5km 9時10分
- ◆定員 2000人(種目別)
- ◆申し込み先・問い合わせ 尊徳マラソン大会実行委員会事務局(〒250小田原市城山2-29-1 城山陸上競技場内) ☎240343・☎225458・FAX 25752
- ◆種別にかかわらず先着順で定員になり次第締め切り
- ◆参加料 1人2500円
- ◆申し込み 12月20日(月)〜1月31日(月)に尊徳マラソン大会実行委員会事務局にある用紙に必要事項を記入の上、参加料を添えて直接申し込み、郵便振替または現金書留でお申し込みください。(別添郵便払込票でも申し込みできます)
- ◆申し込み先・問い合わせ 尊徳マラソン大会実行委員会事務局(〒250小田原市城山2-29-1 城山陸上競技場内) ☎240343・☎225458・FAX 25752